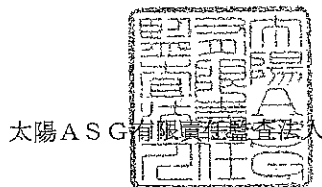


独立監査人の監査報告書

平成 23 年 5 月 30 日

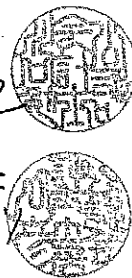
公益財団法人 新宿未来創造財団

理事長 中山 弘子 殿



指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 11 | 6 勉

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 土居 - 亮



当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人新宿未来創造財団の平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日までの平成 22 年度に係る貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドライン I - 5 (i) の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びに財産目録（「貸借対照表科目」、「使用目的等」及び「金額」の欄に限る。）及びキャッシュ・フロー計算書について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。なお、財産目録の「使用目的等」については公益認定関係書類と照合した。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、当監査法人の意見は次のとおりである。

- (1) 当監査法人は、財務諸表等（財産目録については「貸借対照表科目」及び「金額」の欄に限る。）が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、公益財団法人新宿未来創造財団の当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 当監査法人は、財産目録の「使用目的等」の欄の記載内容が、公益認定関係書類に基づき作成されているものと認める。

公益財団法人新宿未来創造財団と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

平成 23 年 5 月 31 日

公益財団法人新宿未来創造財団
理事長 中山 弘子 殿

平成 22 年度事業及び会計に関する監査報告について

当財団の監査を実施したので、次のとおり報告します。

- ・ 会計監査実施年月日 平成 23 年 5 月 31 日 (火)
- ・ 監査会場 公益財団法人新宿未来創造財団指導員室
- ・ 監査の種類 一般 (通常) 監査

1 事業の監査


財団の作成した事業実績報告に基づき、書類の審査・質問によって、事業は当初の計画のとおり着々と実施されていることを確認しました。


2 会計の監査

会計の処理及び財務の管理は、会計原則に基づく処理がなされ、計算書類に表示された金額は正しいことを太陽 ASG 有限責任監査法人が確認しました。この監査報告書を正当であると認めます。

以上のとおり、監査の結果は適正であることを報告します。

公益財団法人新宿未来創造財団

監事 神津 信一 

監事 名倉 明孝 

監事 小柳 俊彦 